

# 常任委員会での全議員の発言回数 (議会事務局確認済)

4月26日は区議区長選  
政治は選挙で変わります

## 表の見方及びカウント方法

- 期間は2011年5月～2014年12月まで(3年7ヶ月分)。(2015年1月～3月は現時点で未発表のため)
- 委員会の所属任期は事実上2年で交代ですが、引き続き同じ委員会に所属する議員もいます。
- 委員長は基本的に発言できないのでカウントしてません。平均は委員長でない時の所属委員会で出しています。前期・後期委員長を務めた議員はカウントしてません。(1人います)
- 副委員長は特に発言の制限がないので、委員と同じカウントにしました。

## 議会は活性化しているか?

■かつて、本会議での質問を、この紙面を通じて大公開し、議会改革につながったことがあります  
■その後、今度は本会議の質問さえやっていけば一人前というような風潮もあって、本当に議会は活性化しているのか?と思う時があります  
■とすれば、本会議での質問は一問一答ではないので、「読み上げ朗読会」のように聞こえたりします  
■実は、世田谷区政の具体的な政策は常任委員会で報告され、議案も常任委員会で審議されます  
■すなわち議員の実力が示されるのは常任委員会なのです  
■しかも世田谷区議会の常任委員会は誰で

もが自由に発言でき、また時間制限もありません  
■それに比べて本会議での質問、予算・決算委員会は発言時間の割当て(時間制限)があり形式化している面もあります  
■議員本来の持ち味は委員会でこそ発揮されます  
■少なくとも議会は行政をチェックする機関ですから、問題点を明らかにすることが仕事です  
■黙っていても問題点を指摘できません  
■もちろん発言が多い議員が評価に値しない場合もあるでしょう  
■しかし、少なすぎるというのは議会の活性化に反している、と言えるのではないのでしょうか

議員名	会派	前期委員会回数	後期委員会回数	前期発言数	後期発言数	発言総回数	1委員会平均回数	その他	
あべ弘幸	自民	福祉	33	文教	22	21	49	70	1.3
石川征男	自民	福祉	33	区民	25	37	75	112	1.9
上島よしもり	自民	企総	38	都整委員長		65	—	65	1.7
上山なおのり	自民	文教	24	福祉	26	21	0	21	0.4
穴戸のりお	自民	区民	32	企総委員長		47	—	47	1.5
下山芳男	自民	都整委員長		文教委員長		—	—	—	—
新川勝二	自民	都整	30	文教	22	38	0	38	0.7
菅沼つとむ	自民	福祉	33	福祉	28	350	326	676	11.1
島山晋一	自民	文教	24	都整	24	15	51	66	1.4
三井みほこ	自民	区民	32	福祉	28	128	77	205	3.4
山口ひろひさ	自民	企総委員長		都整	24	—	24	24	1.0
山内彰	自民	文教委員長		企総	31	—	44	44	1.4
和田秀壽	自民	都整	30	企総	31	34	37	71	1.2
板井素	公明	企総	38	区民委員長		231	—	231	6.1
岡本のぶ子	公明	文教	24	福祉	28	127	282	409	7.9
佐藤弘人	公明	都整	30	福祉委員長		124	—	124	4.1
杉田光信	公明	文教	24	企総	26	25	15	40	0.8
高久則男	公明	福祉	33	都整	24	210	92	302	5.3
高橋昭彦	公明	福祉委員長		文教	22	—	216	216	9.8
津上仁志	公明	都整	30	区民	25	29	170	199	3.6
平塚敬二	公明	区民	32	文教	22	72	7	79	1.5
福田妙美	公明	企総	38	都整	28	69	54	123	1.9
諸星養一	公明	区民委員長		企総	31	—	93	93	3.0
植田靖子	生ネ社	福祉	33	区民	25	247	192	439	7.6
桜井純子	生ネ社	区民	32	福祉	28	96	57	153	2.6
高岡じゅん子	生ネ社	企総	38	文教	22	57	55	112	1.9
てるや里美	生ネ社	文教	24	都整	24	128	65	191	4.0
唐沢としみ	生ネ社	区民	28	企総	31	76	56	132	2.2
江口じゅん子	共産	区民	32	区民	25	326	95	421	7.4
桜井稔	共産	都整	30	都整	24	245	182	427	7.9
中里光夫	共産	企総	38	企総	31	244	142	386	5.6
村田義則	共産	福祉	33	福祉	28	591	282	873	14.3
風間ゆたか	民主	文教	24	文教	22	99	200	299	6.5
中塚さちよ	民主	福祉	33	企総	31	156	54	210	3.3
中村公太郎	民主	企総	38	福祉	28	259	154	413	6.3
大庭正明	F行革	福祉	33	福祉	28	482	600	1082	17.7
田中優子	F行革	企総	38	企総	31	339	188	527	7.6
桃野よしふみ	F行革	区民	32	区民	25	327	303	630	11.1
木下泰之	緑	都整	30	都整	24	1043	917	1960	36.3
小泉たま子	新風21	区民	32	区民	26	229	165	394	6.8
あべカ也	減税	区民	32	区民	25	394	366	760	13.3
上川あや	虹	文教	24	文教	22	114	102	216	4.7
ひうち優子	世田谷	都整	31	区民	25	26	24	50	0.9
佐藤美樹	未来	都整	30	都整	24	94	60	154	2.9
すえおか雅之	立憲	文教	30	都整	24	133	166	299	6.2
青空こうじ	無所属	都整	30	文教	22	37	95	132	2.5

企総⇒企画総務常任委員会 区民⇒区民生活常任委員会  
福祉⇒福祉保健常任委員会 都整⇒都市整備常任委員会  
文教⇒文教常任委員会

## 今期最後の長～いあとがき

### 仕事の出来ない区長

■4年前、保坂区政が誕生した際、期待感もあったのですが、すぐに「仕事のできない人」であることがわかりました  
■また組織を動かせる人でないこともわかりました。そのことを、その度ごとに、皆様にご報告してきたつもりです  
■しかしながら、区長はまだまだ言葉巧みに、仕事をしているイメージを量産し続けています  
■カッコいいところは独り占め、相談もせず独善的にカッコよくやろうとして逆に困ったことになると部下に丸投げ  
■庁内の評判は最悪で役人の働くモチベーションは限界に達しています  
■今回の公選法違反も形式的に近く、これで警察がすぐに動くことはないでしょう。しかし公人として、ふさわしいのでしょうか

### 住民参加の意味

■保坂区長は当選直後から、「住民参加」という言葉を多用しています。しかし保坂氏の使う「住民参加」とは皆さんが考える「住民参加」とは全く逆の意味であることが、この4年間を通じて分かってきました  
■即ち、保坂氏の行動原理は「責任を取りたくない」ということなのです  
■その結果が、「決断ができない区長」という批判に通じてくるのです  
■責任をとりたくない、という行動原理はどこにつながるのでしょうか。それは「住民に責任を押し付ける」ということなのです  
■つまり、保坂氏の「住民参加」とは「住民に責任を押し付ける」都合の良い隠れ蓑であったのです  
■住民参加で住民が責任を押し付けられるとすれば、区長などいらないはず  
■保坂氏の役割は何なのでしょう  
■保坂氏の好きな言葉は「支援」です。政策でも「何とか支援」を乱発しています  
■しかし、「支援」というのは増やしても財政規模が大きくなる範囲では区長として責任を取られにくい政策です  
■また「支援」される側は、区長にとって格好の人気取り政策になります

### 区役所の電源問題

■「責任をとりたくない」「決断ができない」「嫌われたくない」その性格の延長線上に「住民参加」があり、「住民全員が賛成するまで丁寧な説明」をしると繰り返す区長  
■これは、別の言葉で言えば「問題の先送り」に過ぎません  
■区長の本業は意見を聞いた上で「最終決断」をすることです  
■結局トップが決断をしないから、区政は停滞です  
■時間のムダ、高給取りの役人をムダに遊ばせ、しかも役所内を引っ掻き回し、ムダがムダを生む悪循環  
■そのことは公選法違反の幼稚な行動にすべてが現れています  
■もうお判りでしょう。区長こそが世田谷区最大のムダなのです

### 世田谷区最大のムダ

■本庁舎の電源問題は深刻かつ危機的です。(ただし、首都直下が起こらない限り露呈しない問題)  
■本庁舎すなわち世田谷区役所は政策を作り、その政策を実行する部署です。また震災の際はいち早く、日常業務とは異なる対策を被害状況に応じて立案する部署です  
■その職員が電源切れで働こうにも働けない。パソコンすら動かないのですから  
■このことを私は保坂区長に4年前から訴え続けていますが、問題は直視されませんでした  
■実はこの問題を根本的に解決するには、巨額の予算を投じることになります。保坂区長はその決断ができないので、お門違いの世田谷総合支所の非常用電源の設置で何かやったように繕っていたのです

### 実際に遅れている事業

■言うまでもなく、保育待機児問題はワーストワン。一方で「こども・子育て応援都市宣言」など区長はイメージ戦略に躍起  
■また「迷惑空き家対策」についても条例素案は出来ているのに議会に出さない、どうも強制代執行という言葉が保坂区長は嫌いらしい  
■また「がやがや館」は依然赤字状態  
■区長の看板政策の一つ「せたがやソーラーさんさん事業」は事業そのものが破綻状態。めっちゃめっちゃなのです。  
■私はこういう“実態”を訴えて世田谷中を駆け巡っています。

## おおば正明の略歴

- 1 昭和62年組織なし、カネなし選挙で3052票を得て最下位初当選(次点と14票差)
  - 2 パン屋の後藤雄一氏と作った『世田谷行革110番』として不正追及、ダメ公務員追放の先頭に立つ
  - 3 連続7期当選。政党歴なし
  - 4 これまで議会弁当事件、汚職部長クビ事件ほか使い込み事件等、数々の不祥事を追及
  - 5 また保坂区長の規範意識の弱さを事実によって指摘(予算書に不掲載のオランダ旅行等数々)
  - 6 「特定秘密保護法」「解釈改憲」「原発再稼働」に反対
  - 7 「福祉の財源は行革から」が政治信条
  - 8 特定の利益団体、宗教団体、労働組合等との関係支援は過去も現在も一切ありません。
- 58歳 ■成蹊大経済卒 ■妻・娘と粕谷在住 ■

●区民の皆さんには、多くの行政の実態が知られておりません。ましてやトップが“自己装飾”してしまうようではお手上げです。  
●現在、私の新聞をより多くの区民の皆様にご覧いただくよう読者拡大運動をしています。  
●見かけたら声掛けて下さい。



世田谷区議会議員 おおば正明

このスタイルは公選法上問題ありません(成蹊警察確認済)